

事業シート(令和8年度予算)

事業名	41120 公衆衛生推進事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	3	人づくりを支える環境整備	根拠計画	過疎地域持続的発展計画
					款	4	衛生費			ポイント	(1)	自分らしく、充実して暮らせる環境づくり		
					項	1	保健衛生費		分野別	政策分野	1	福祉・医療・健康	市長公約	
					目	1	保健衛生総務費			施策分野	(6)	健康・保健		
担当課	医療保健部 健康推進課	内線	2804											

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・保健・衛生関係事務の適正な執行により、市民の健康の維持・増進及び公衆衛生の向上を図る。	概要	・保健・衛生関係事務の遂行 ・骨髓移植ドナー及び雇用事業所に対する助成 ・公衆浴場業者が行う設備の改修にかかる費用への補助 ・飼い犬の登録や死亡等の受付とデータ管理、狂犬病予防注射の実施 ・所有者不明猫の保護等を行う団体への補助
----	--	----	--

総合計画等 主な指標	R6実績	R7実績	R11目標

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R6		R7			(千円)	
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)	増減 (b)-(a)	
		462	252	3,052				
特定財源	国費 ( )							
	県費 ( 骨髓移植ドナー支援事業費 1/2、公衆浴場設備改善対策事業費2/3 県委譲事務交付金 等 )	144	37	1,072				
	その他( 畜犬登録手数料 )			1,080				
一般財源		318	215	900				
新規・拡充	主な事業内容							
	公衆衛生推進事業	252	252	252				
	骨髓移植ドナー等に対する助成	210	0	210				
	公衆浴場設備改善対策に対する助成			1,400				
	畜犬登録事務			680				
	飼い主のいない猫の緊急保護に対する助成			400				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和8年度予算編成(Action)

R8予算		実施計画額	3,100
要求額(d)	財務部査定額	市長査定額	増減 (d)-(c)
3,099			47
1,074			2
1,130			50
895			△ 5
要求額	説明		
252			
210			
1,400			
729			
400			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	・飛騨公衆衛生協議会負担金 ・骨髓移植ドナーへの支援補助 ドナー0名、事業所0箇所
評価等	・保健衛生関係事務の適正な執行により、市民の健康の維持や公衆衛生の向上が図られた。 ・引き続き負担金の適正な使途の確認が必要である。
次年度以降の考え方 (担当課)	<div><input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R6完了 <input type="checkbox"/> R7完了予定</div> <div>・引き続き適正な事務の執行に務める。</div>

5.令和7年度事業実績、評価等(Check) R8.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方 (担当課)	<div><input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R7完了 <input type="checkbox"/> R8完了予定</div>

担当課 予算要求 ポイント	・保健衛生関係団体への会費負担金等の必要な経費を計上 ・公衆浴場事業者が行う設備改修への支援に必要な経費を計上 ・動物愛護の啓発に必要な経費を計上
---------------------	---

財務部 査定の 考え方	
市長査定 の考え方	

事業シート(令和8年度予算)

事業名	41200 健康づくり推進事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	3	人づくりを支える環境整備	根拠計画	健康たかやま21、過疎地域持続的発展計画、食育推進計画
					款	4	衛生費			ポイント	(1)	自分らしく、充実して暮らせる環境づくり		
					項	1	保健衛生費		分野別	政策分野	1	福祉・医療・健康	市長公約	
					目	2	予防費			施策分野	(6)	健康・保健		
担当課	医療保健部	健康推進課	内線	2804										

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・市民・関係団体と一体となり、市民一人ひとりの健康に対する意識を高めるとともに、心身の健康に関する正しい知識の普及を図ることにより、市民の健康の保持増進を支援する。	概要	・健康づくり推進協議会の開催 ・食生活改善推進員教育事業(栄養教室)、国民の健康づくり推進事業(飛まわり会)の実施 ・健康相談、健康教育、健康づくり事業(健康まつり、健康ポイント、水中歩行事業)の実施 ・フレイル予防、眠育、食育の推進 ・たばこによる健康被害の軽減を目的とした禁煙外来費用の助成 ・がん患者の医療用補正具購入費用の助成
----	--	----	--

総合計画等 主な指標	R6実績	R7実績	R11目標
運動習慣者(30分・週2回以上の運動を1年以上継続)の割合(20～64歳)	27.7%		34%
「主体的な健康づくりや病気の予防に取り組む環境が整っている」と感じている市民の割合	57.1%		↗
健康寿命 (KDB数値R4実績)			男80歳 女84歳

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R6		R7		
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)
		9,178	6,346	9,000		増減 (b)-(a)
特定財源	国費 ( )					
	県費 ( 健康増進事業費2/3、こころの健康支援事業費1/2 等 )	1,113	1,032	1,046		
	その他( 福祉健康基金繰入金、保健介護一体的実施事業 )	1,660	1,600	1,460		
一般財源		6,405	3,714	6,494		
新規・拡充	主な事業内容					
	市民健康まつりの開催(健康づくり啓発)	950	480	950		
	健康相談・健康教育事業	1,680	1,620	1,570		
	健康づくり事業(健康ポイント・水中歩行運動)	3,239	2,181	3,530		
	高齢者の保健事業と介護予防等の一体的実施	550	540	550		
○	SNSによる健康情報の発信					
	がん患者医療用補正具購入に対する助成	800	731	800		
	血糖値の見える化による糖尿病の予防			540		

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	・市民健康まつりは、9月の1か月間を健康フェスティバル月間と定めて、日にちや開催場所を分散し、より多くの健康づくり体験ができる形へ変更した。(参加団体17、体験者数1,156人) ・一般健康相談(762回 959人)、重点及び総合健康相談(66回 231人)、集団健康教育(123回 1,187人) うちフレイル予防講座(22回 参加者221人) ・食生活改善学習会実施回数(8回) ・健康ポイント事業(達成者1,158人) ・水中歩行運動事業(2クール、利用者62人) ・眠育講座(4回、アドバイザー養成273名)
評価等	・健康ポイント事業、水中歩行運動により、市民が自ら健康づくりに取り組むための環境整備を図った。 ・学校や保育園などで眠育や食育の重要性を啓発した。 ・食生活改善推進員等の関係団体については、「健康たかやま21」や「高山市食育推進計画」の推進に欠かせない重要な団体として協働していく。
次年度以降の考え方(担当課)	<div><input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善</div> <div><input type="checkbox"/> 拡大</div> <div><input type="checkbox"/> 縮小</div> <div><input type="checkbox"/> 廃止検討</div> <div><input type="checkbox"/> R6完了</div> <div><input type="checkbox"/> R7完了予定</div> <div>・健康ポイント事業により、健診を受けることや運動習慣を持つこと等、健康に関心のない人であっても自主的に健康づくりに取り組めるような、きっかけづくりに努める。 ・眠育やフレイル予防などライフステージに応じた健康づくりを推進する。 ・健康寿命の延伸に向け、関係部局と連携し、高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施に引き続き取り組む。</div>

5.令和7年度事業実績、評価等(Check) R8.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<div><input type="checkbox"/> 維持・改善</div> <div><input type="checkbox"/> 拡大</div> <div><input type="checkbox"/> 縮小</div> <div><input type="checkbox"/> 廃止検討</div> <div><input type="checkbox"/> R7完了</div> <div><input type="checkbox"/> R8完了予定</div>

4.令和8年度予算編成(Action)

R8予算		実施計画額	9,000
要求額(d)	財務部査定額	市長査定額	増減 (d)-(c)
10,461			1,461
1,093			47
605			△ 855
8,763			2,269
要求額	説明		
1,051			
1,585			
3,894			
605			
969			
800			
536			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

担当課 予算要求 ポイント	・健康まつりの開催に必要な経費を計上 ・健康寿命の延伸の取組みに必要な経費を計上
---------------------	---

財務部 査定の 考え方	
市長査定の 考え方	

事業シート(令和8年度予算)

事業名	41210    ころの健康支援事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	3	人づくりを支える環境整備	根拠計画	健康たかやま21、一人ひとりの命とところを支える計画（自殺対策計画）、過疎地域持続的発展計画
					款	4	衛生費				ポイント	(1)		
					項	1	保健衛生費		分野別	政策分野	1	福祉・医療・健康	市長公約	
					目	2	予防費			施策分野	(6)	健康・保健		
担当課	医療保健部 健康推進課	内線	2846											

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・個別の相談や啓発を行い、ころの健康の保持増進を図る。	概要	・メンタルヘルスチェックシステムによるころの健康の啓発 ・公認心理師・臨床心理士によるころの健康相談 ・ゲートキーパーの周知と育成
----	-----------------------------	----	---

総合計画等 主な指標	R6実績	R7実績	R11目標
ころの健康相談来所者数	22人		36人
ころの体温計アクセス数	12,734件		20,000件

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R6		R7		
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)
		720	649	680		
特定財源	国費 ( )					
	県費 ( ころの健康支援事業費1/2、2/3 )	380	332	360		
	その他( )					
一般財源		340	317	320		
新規・拡充	主な事業内容					
	ころの健康支援事業	380	367	380		
	ゲートキーパーの育成、命の大切さの啓発	340	282	300		

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和8年度予算編成(Action)

R8予算		実施計画額	700
要求額(d)	財務部査定額	市長査定額	増減 (d)-(c)
763			83
404			44
359			39
要求額	説明		
468			
295			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	・メンタルヘルスチェックシステムの維持(アクセス数:12,734件) ・精神保健福祉士によるころの健康相談(22人) ・自殺予防啓発リーフレットを作成し、出前講座等での配布や、行政機関等の各種相談窓口や公共施設等に設置 ・ゲートキーパーの育成(284人)
評価等	・自分自身や大切な人のころの状態を確認できるメンタルヘルスチェックシステム(ころの体温計)の利用啓発に努める必要がある。 ・自殺のサインに気づき、適切な対応ができる人材を育成するため、ゲートキーパー育成講座を開催した。 ・引き続き、精神保健福祉士等によるころの健康相談事業の普及・啓発と相談しやすい環境の整備に努める必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	・精神保健福祉士等によるころの健康相談事業は、「健康たかやま21」にも位置づけられた「ころの健康」につながることから今後も継続していく。 ・メンタルヘルスに関する各種事業により、自殺者減少に向けた啓発を行う。 ・自殺対策計画に基づき、関係機関・団体等との課題の共有や取り組みの推進と各種施策の進捗管理を継続して行う。 ・誰も自殺に追い込まれることのない高山市の実現のため、引き続き自殺予防に向けた啓発、人材育成、相談体制の充実を図る。 <div><input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R6完了 <input type="checkbox"/> R7完了予定</div>

5.令和7年度事業実績、評価等(Check) R8.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<div><input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R7完了 <input type="checkbox"/> R8完了予定</div>

担当課 予算要求 ポイント	・自殺対策を推進するためのゲートキーパーの育成、ころの健康相談等の実施に必要な経費を計上
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	
市長査定の 考え方	

事業シート(令和8年度予算)

事業名	41220 健康診査事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	3	人づくりを支える環境整備	根拠計画	健康たかやま21、過疎地域持続的発展計画
					款	4	衛生費			ポイント	(1)	自分らしく、充実して暮らせる環境づくり		
					項	1	保健衛生費		分野別	政策分野	1	福祉・医療・健康	市長公約	
					目	2	予防費			施策分野	(6)	健康・保健		
担当課	医療保健部 健康推進課	内線	2846											

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・各種検診を実施し、疾病の予防及び早期発見、早期治療を行うことで健康増進を図る。	概要	・前年度末に各種検診の全対象者に申込書を送付し、希望のあった方に問診票を送付 ・4月中旬から3月中旬まで各種検診を実施 ・胃部レントゲン検査が受けられない市民を対象とした胃内視鏡による胃がん検診の実施
----	--	----	--

総合計画等 主な指標	R6実績	R7実績	R11目標
がん(胃・大腸・肺・乳・子宮頸がん)検診受診率(69歳未満)	65.8%		60%

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R6		R7		
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)
		136,018	118,516	154,048		
特定財源	国費 ( がん検診推進事業費1/2 )	150	122	170		
	県費 ( 健康増進事業費2/3 )	3,770	3,288	3,680		
	その他( )					
一般財源		132,098	115,106	150,198		
新規・拡充	主な事業内容					
	健康診査委託料	15,300	14,153	16,000		
	がん検診委託料	89,725	75,279	95,700		
	骨粗しょう症検診、歯周疾患検診、肝炎検査、胸部レントゲン委託料	17,600	16,250	27,900		
	胃内視鏡検診委託	4,100	3,873	4,100		

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和8年度予算編成(Action)

R8予算		実施計画額	154,100
要求額(d)	財務部査定額	市長査定額	増減 (d)-(c)
157,028			2,980
180			10
3,044			△ 636
153,804			3,606
要求額	説明		
15,715			
99,006			
27,402			
4,232			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	・前年度末に各種検診の全対象者に申込書を送付し、希望のあった方に問診票等を送付。4月中旬から3月中旬まで各種検診を実施した。 ・歯周疾患検診の対象者に新たに20歳と30歳を追加して実施した。 ・がん検診推進事業により、乳がん(40歳)・子宮頸がん(20歳)・大腸がん(40歳)について、一定年齢に到達した者に対して自己負担金の無料化を実施した。 ・各種検診受診者数(総数:39,338人) 健康診査:2,420人 胃がん:4,354人 胃がん(内視鏡):188人 大腸がん:8,521人 子宮頸がん:5,533人 乳がん:5,792人 肺がん:9,951人 前立腺がん:835人 肝炎ウイルス:542人 歯周疾患:517人 骨粗鬆症:685人
評価等	・健康意識の向上、生活習慣改善のため、各種検診を実施した。 ・引き続き各種検診の受診率の向上に努める必要がある。 ・歯周疾患については、引き続き若い頃から歯や口腔の健康管理を行っていく必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	・各種検診を継続して実施し、受診率の向上を目指す。 ・「健康たかやま21」の目標である、がん検診受診率の達成を目指す。 ・生命保険会社や協会けんぽ等との協定に基づき、市が行う各種検診の受診勧奨や健康教室等の案内文書の配付等で協働することで、市民全体の健康づくりを推進する。 ・歯周疾患検診を20歳から実施し、若い年代からの歯・口腔の健康の保持増進を図る。 <div><input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R6完了 <input type="checkbox"/> R7完了予定</div>

5.令和7年度事業実績、評価等(Check) R8.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<div><input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R7完了 <input type="checkbox"/> R8完了予定</div>

担当課 予算要求 ポイント	・各種がん検診、健康診査等に必要な経費を計上
財務部 査定の 考え方	
市長査定 の考え方	

事業シート(令和8年度予算)

事業名	41230 訪問指導事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	3	人づくりを支える環境整備	根拠計画	健康たかやま21、過疎地域持続的発展計画	
					款	4	衛生費			ポイント	(1)	自分らしく、充実して暮らせる環境づくり			
					項	1	保健衛生費		分野別	政策分野	1	福祉・医療・健康	市長公約		
					目	2	予防費			施策分野	(6)	健康・保健			
担当課	医療保健部 健康推進課		内線	2815											

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・保健指導が必要であると認められる市民及びその家族に対して、訪問により必要な指導を行い、健康の保持増進を図る。	概要	・健診結果や療養上から必要な者に対する訪問指導の実施
----	---	----	----------------------------

総合計画等 主な指標	R6実績	R7実績	R11目標
メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の減少率(H25比)	+1.1%		25%

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R6		R7		
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)
		930	804	720		
特定財源	国費 ( )					
	県費 ( 健康増進事業費2/3 )	34	34	31		
	その他 ( )					
一般財源		896	770	689		
新規・拡充	主な事業内容					
	訪問指導事業	930	804	720		

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	・健診結果や療養上から必要な者に対する訪問指導を実施した。(2,738人)	
評価等	・健康診査を受けられた方の中から、生活習慣改善のための保健指導、医療機関への受診勧奨等、健診結果から目的別に対象者を抽出し、より個別性のある保健指導の実施に努めた。	
次年度以降の考え方(担当課)	・保健指導が必要な市民に対し、生活習慣と健康状態の改善につながるような訪問指導を実施していく。 ・若年者からの健診受診の習慣化が図られるような訪問指導に努める。 ・協会けんぽの事業者等と市民の健康課題について共有し、連携促進に努める。	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R6完了 <input type="checkbox"/> R7完了予定

5.令和7年度事業実績、評価等(Check) R8.8実施

事業実績		
評価等		
次年度以降の考え方(担当課)		<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R7完了 <input type="checkbox"/> R8完了予定

4.令和8年度予算編成(Action)

(千円)

R8予算		実施計画額	800
要求額(d)	財務部査定額	市長査定額	増減 (d)-(c)
1,070			350
34			3
1,036			347
要求額	説明		
1,070			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

担当課 予算要求 ポイント	・中学3年生から74歳までの保健指導の実施に必要な経費を計上
---------------------	--------------------------------

財務部 査定の 考え方	
市長査定の 考え方	

事業シート(令和8年度予算)

事業名	41240 感染症対策事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	方向性			根拠計画	新型インフルエンザ等対策行動計画、過疎地域持続的発展計画
					款	4	衛生費		ポイント				
					項	1	保健衛生費		政策分野	1	福祉・医療・健康		
					目	2	予防費		分野別 施策分野	(6)	健康・保健		
担当課	医療保健部 健康推進課	内線	2804									市長公約	

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・市民に対し予防接種を実施することにより、疾病の発病及び重症化予防、まん延を予防する。 ・新たな感染症の感染拡大を可能な限り抑制して、健康被害を最小限にとどめ、社会・経済への影響を低減する。 ・新たな感染症に対する備蓄品の適正な管理と計画的な更新	概要	・定期予防接種(A類・B類)の実施 ・小児インフルエンザ予防接種に対する助成 ・小児がん患者ワクチン再接種に対する助成 ・带状疱疹予防接種に対する助成 ・新たな感染症対策備蓄品(マスク・防護服・消毒薬等)の計画的な更新
----	---	----	---

総合計画等 主な指標	R6実績	R7実績	R11目標
定期予防接種率(A類疾病)	89.1%		95.0%

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		(千円)					
		R6		R7			
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)	増減 (b)-(a)
		529,065	381,479	403,101			
特定財源	国費 ( 感染症対策事業費1/2 新型コロナウイルス予防接種健康被害給付費10/10 )	58,794	58,454	5,040			
	県費 ( 小児がん患者ワクチン再接種補助金1/2 )	100	3	40			
	その他( 福祉健康基金繰入金 新型コロナワクチン確保助成 )	152,700	51,441	1,000			
一般財源		317,471	271,581	397,021			
新規・拡充	主な事業内容						
	定期予防接種(麻しん・風疹、五種・二種混合、日本脳炎、ロタウイルス、コロナ等)	416,367	289,022	362,570			
	任意予防接種費補助金(带状疱疹、風しん)	25,900	15,300	13,200			
	小児がん患者へのワクチン再接種に対する助成	200	8	80			
○	小児インフルエンザの予防接種に対する助成	15,263	9,414	11,300			
	おたふくかぜ予防接種に対する助成			2,700			
	新型コロナウイルス予防接種健康被害給付金	57,316	57,274	5,040			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	・定期予防接種を実施した。(A類疾患接種率:89.1%) B型肝炎1,155人、ヒブ1,473人、小児肺炎球菌1,581人、5種混合1,038人、4種混合590人、2種混合609人、BCG394人、麻しん・風しん967人、水痘855人、子宮頸がん3,028人、日本脳炎2,239人、ロタウイルス797人、高齢者インフルエンザ15,655人、高齢者肺炎球菌252人、高齢者コロナ4,993人 ・小児インフルエンザは生後6か月以上中学3年生までのこどもに対し、4,642人の助成を行った。 ・带状疱疹は50歳以上の希望者に助成を行った。(1,478回分) ・新型インフルエンザ等対策備蓄品(マスク・防護服・手指消毒薬等)の計画に基づく更新を行った。 ・成人の風しん追加対策として抗体検査297件行い、十分な抗体がない者に予防接種60件を行った。 ・小児がん患者へのワクチン再接種に対し、1件助成を行った。
評価等	・感染症のまん延や重症化を予防するため、引き続き各種予防接種の接種勧奨に努める必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	・予防接種法に沿って実施する。特に感染力が強い、麻しん・風しんの予防接種については個別勧奨等を実施し、接種率の向上を図る。 ・子宮頸がんワクチンは、キャッチアップ接種による接種勧奨の取組みが終了を迎える中、定期接種対象者への勧奨に引き続き注力する。 ・おたふくかぜの任意接種への助成が開始されることから、その効果や副反応の状況等を十分理解した上で実施を判断するよう説明していく。 <div><input type="checkbox"/> 維持・改善 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R6完了 <input type="checkbox"/> R7完了予定</div>

5.令和7年度事業実績、評価等(Check) R8.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<div><input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R7完了 <input type="checkbox"/> R8完了予定</div>

4.令和8年度予算編成(Action)

R8予算		実施計画額	396,200
要求額(d)	財務部査定額	市長査定額	増減 (d)-(c)
366,901			△ 36,200
5,249			209
42			2
			△ 1,000
361,610			△ 35,411
要求額	説明		
323,980			
11,338			
95			
16,188	18歳到達年度末までに対象年齢拡大		
1,800			
5,249			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

担当課 予算要求 ポイント	・感染症対策に必要な経費を計上 ・任意予防接種(小児インフルエンザ、おたふくかぜワクチン等)に対する助成に必要な経費を計上 ・18歳到達年度末までの小児インフルエンザに対する助成拡大に必要な経費を計上
財務部 査定の 考え方	
市長査定 の考え方	

事業シート(令和8年度予算)

事業名	41250 保健センター管理事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	3	人づくりを支える環境整備	根拠計画	過疎地域持続的発展計画
					款	4	衛生費			ポイント	(1)	自分らしく、充実して暮らせる環境づくり		
					項	1	保健衛生費		分野別	政策分野	1	福祉・医療・健康	市長公約	
					目	2	予防費			施策分野	(6)	健康・保健		
担当課	医療保健部 健康推進課	内線	2804											

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・支所地域の公衆衛生の向上及び市民の健康の保持・増進を図る。	概要	・支所地域に設置されている保健センター(5か所)の管理・運営
----	--------------------------------	----	--------------------------------

総合計画等 主な指標	R6実績	R7実績	R11目標

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R6		R7			
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)	増減 (b)-(a)
		6,761	6,577	24,170			
特定財源	国費 ( )						
	県費 ( )						
	その他( 保健センター使用料、敷地占用料 等 )	1,704	1,511	491			
一般財源		5,057	5,066	23,679			
新規・拡充	主な事業内容						
	保健センターの管理運営	6,761	6,577	24,170			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	・支所地域に設置されている保健センター(6か所)の管理・運営 延べ利用日数 368日、延べ利用者数 3,658人
評価等	・久々野保健センターについては、必要な保健事業は地域内にある他の施設で実施が可能であり、保健センターの利用頻度や地域住民の利便性等を勘案し、令和6年度末で廃止した。 ・他の保健センターについても、利用状況をみながら廃止が必要な場合は調整を進める必要がある。
次年度以降の考え方 (担当課)	<div><input type="checkbox"/> 維持・改善</div> <div><input type="checkbox"/> 拡大</div> <div><input type="checkbox"/> 縮小</div> <div><input checked="" type="checkbox"/> 廃止検討</div> <div><input type="checkbox"/> R6完了</div> <div><input type="checkbox"/> R7完了予定</div> <div>・引き続き、高山市保健センターの適正な管理・運営を行いつつ、公共施設等総合管理計画に基づく支所地域の施設の廃止に向けた調整を進める。</div>

5.令和7年度事業実績、評価等(Check) R8.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方 (担当課)	<div><input type="checkbox"/> 維持・改善</div> <div><input type="checkbox"/> 拡大</div> <div><input type="checkbox"/> 縮小</div> <div><input type="checkbox"/> 廃止検討</div> <div><input type="checkbox"/> R7完了</div> <div><input type="checkbox"/> R8完了予定</div>

4.令和8年度予算編成(Action)

(千円)

R8予算		実施計画額	10,100
要求額(d)	財務部査定額	市長査定額	増減 (d)-(c)
5,815			△ 18,355
583			92
5,232			△ 18,447
要求額	説明		
5,815			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

担当課 予算要求 ポイント	・支所地域の保健センターの適正な管理・運営に必要な経費を計上
---------------------	--------------------------------

財務部 査定の 考え方	
市長査定の 考え方	